



2022年10月14日

各 位

会 社 名 株式会社 大庄  
代表者名 代表取締役社長 平 了寿  
(コード:9979 東証スタンダード市場)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 野間 信護  
(TEL. 03-5764-2229)

特別利益・特別損失の計上及び業績予想との差異  
並びに2022年8月期 期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年8月期第4四半期連結会計期間において、特別利益及び特別損失を計上しましたので、お知らせいたします。併せて、2022年7月15日に公表しました2022年8月期の業績予想と実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2021年10月15日に公表しました期末配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上

当社は、2022年8月期第4四半期連結会計期間において、再開発による店舗の立ち退きに係る受取補償金139百万円を特別利益に計上しました。

2. 特別損失の計上

当社は、2022年8月期第4四半期連結会計期間において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗閉鎖等に係る設備資産等の減損処理による減損損失148百万円を計上しました。

3. 業績予想との差異

(1)2022年8月期通期連結業績予想との差異(2021年9月1日～2022年8月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	36,712	△4,749	225	△76	△3円62銭
実績値(B)	35,799	△5,390	△410	△770	△36円70銭
増減額(B-A)	△913	△641	△635	△694	
増減率(%)	△2.5	—	△282.2	—	
(ご参考)前期実績(2021年8月期)	28,836	△5,949	△5,818	△4,864	△231円81銭

(注) 前期実績は「収益認識会計基準」適用後の金額となっております。

(2)差異の理由

売上高につきましては、まん延防止等重点措置解除後の4月～6月までの実績と足許の新型コロナウイルスの新規感染者数の推移を鑑み、7、8月につきましては6月とほぼ同等の推移を想定しておりましたが、7月からの新型コロナウイルス感染症の第7波拡大の影響を受け店舗売上高が大きく下振れた事により、前回予想を下回りました。営業利益及び経常利益につきましては、上記売上高の減少により売上総利益が減少した事等により、前回予想を下回りました。特別利益及び特別損失の合計は前回予想と大きくは乖離しておらず、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては上記経常利益を主要因として、前回予想を下回りました。

#### 4. 期末配当予想の修正

##### (1) 配当予想修正の理由

当社は、企業価値の向上並びに株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題に位置付けております。また、利益配分につきましては、事業拡大に向けて内部留保の充実に努めるとともに、株主の皆様に対しては、安定した配当を継続的に行うことを基本方針としつつ、業績動向や財務健全性の状況も十分に考慮した上での適正な利益還元を行っていきたいと考えております。

しかしながら、本日開示の「2022年8月期決算短信」で発表のとおり、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、当期の業績は非常に厳しい結果となったことから、期末の配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせて頂くことになりました。株主の皆様には、ご期待に沿えない結果となってしまったことを心よりお詫び申し上げます。

当社といたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く状況の中、今期以降を見据えた各種施策に取り組んでおり、早期の業績改善に努めるとともに配当の再開を目指してまいりますので、株主の皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

##### (2) 修正の内容

基準日	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2021年10月15日)		未定	未定
今 回 修 正 予 想		0円00銭	6円00銭
当 期 実 績	6円00銭		
前 期 実 績 (2021年8月期)	0円00銭	7円00銭 (普通配当0円00銭) (記念配当7円00銭)	7円00銭 (普通配当0円00銭) (記念配当7円00銭)

以 上